

2016年 7月号

せつタイムズ Settsu Times

～摂津小学校学習通信～第3号

いよいよ夏休みですね。7月の暑さにも負けず、子どもたちは1学期のまとめの学習に前向きに取り組んでいました。

1学期の学習内容で十分理解しきれていない内容がありましたら、ゆとりのある夏休みに、きちんと家庭学習で復習し理解の手助けをしていただけたらと思います。

また始業式に子どもたちの、ひとまわり大きくなった姿を見られるのを楽しみにしています。

『学校で働く先生』

(生活科)

学校では、たくさんの先生が働いています。栄養教諭の鎌田先生、調理員の先生、校務員の先生、事務室の先生から、どんな仕事をしているのかを話してもらいました。学校生活でたくさんの先生にお世話になっていることを知り、感謝の気持ちをこめてお礼の手紙を書いて渡しました。



『水のかさをはかろう』

(算数)

水筒やペットボトルなど、生活に身近な容器の水のかさを、dLますで実際にはかりました。こぼさないように慎重に、班のみんなで協力しあって調べることができました。「家で見つけた缶に350mLって書いてたよ。」と教えてくれる人もいました。1dLがどのくらいなのかなどという量感を養うことができました。



『風とゴムの働き』(理科)

3年生

風やゴムに物を動かす力があるという勉強をしました。車に帆やゴムをつけて、どうやったら、車をよりとおくまで走らせることができるか、実験しました。実験にわくわくしながら、班の友だちと協力して活動していました。体育館の端まで車を走らせている班もありました。



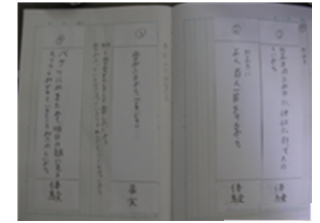
『自分の考えを伝えるには』

(国語)

4年生

「あなたは夏と冬どちらが好き？」自分が好きな季節をその理由も入れて、短冊に思いつくだけ書きました。その後、短冊を相手に伝わるように組み立てて、意見文を完成させました。

交流の場面では、お互いの意見文を聞き、「なるほど。」「あ〜。」などと共感する様子も見られました。



『救命について』(保健)

5年生

消防署の方にも来ていただき、主に、救命処置の大切さや心臓マッサージ、AEDの使い方などを学習しました。

「救急車が到着するまで約8分。」「呼吸が止まって3分以内に助けなければいけない。」という話を、子どもたちは真剣な表情で聞いていました。そして教わったことを、実際に模型を使って実践しました。

周りの人の命を守るために、自分ができることを考えるよい機会となりました。



『金先生のお話』

(総合)

6年生

7月12日(火)に、民族講師の金先生に来ていただき、6年生に向けてお話をさせていただきました。

今回のテーマは「名前」。金先生は、ご自身の過去の体験や、ご家族のお話を通して、名前にまつわるエピソードを紹介して下さいました。

また、自分のルーツを記す「家計図」も見せて下さり、6年生の子ども達が自分のルーツについて考えられる機会を与えて下さいました。

